

# 新 心の戦い

*Tadashi Nikaido*  
二階堂正司

文芸社

# 『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

## 操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るよう設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

## 読み方いろいろ

- 通常は画面の「倍率」が100%前後になっていますが、「倍率」を150%まで高めると文字が読みやすい大きさになります。
- 通常は「見開きページ」で設定されていますが、「単一ページ」にすると読みやすく感じます。
- 読み進めるときは、「十字キー」を使用すると手軽です。
- 「サムネイル機能」を使用して読み進めると、2～3頁からとばし読みするのに便利です。
- 頁を「回転」させることが可能です。地図などを拡大して見るときに便利です。

[http://www.bungeisha.com/PDF\\_is/05-top1.html](http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html) でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。

# 新 心の戦い

*Tadashi Nikaido*  
二階堂正司

文芸社





新・心の戦い

汝ら静まりて我の神たるを知れ

詩篇第46篇10節

栄光の身体によみがえりて

神と共に悪魔と戦わん

## はじめのことは

聖書は愛の教えです。

すべての人間は、神の愛によって心一つにすることができます。

心一つにすれば、人は皆、憎しみを乗り越えて愛をはぐくむことができます。キリスト教とめぐり合ってから三十余年の年月を、私は神様の愛に支えられて生きてきました。

もともと心臓に疾患のある私は、これまで何度か手術を受けましたが、昨年医師から、再び手術の必要があるといわれたときは、さすがに不安になり、重苦しい気持ちでいっぱいでした。

入院中は痛いことや苦しいことの連続でしたが、我慢できないほどの不安や痛みに襲われたとき、私は強い励ましの声を聞き、一人ではない、ともに苦しんでくださる方がいる、と実感できたのです。

温かく力強い励ましのおかげで、私は手術という試練を乗り越えることができました。

今年の春退院して、闘病生活が過去のものとなったとき、私はあらためて神様の愛と信仰の力に、畏敬の念を抱かずにはいられませんでした。

私は以前から一人でも多くの人を、とくにこれから成長する少年少女の皆さんを教会にさそって、聖書の教えを広めたいと思ってきました。聖書はよりよく生きるための、知恵の宝庫でもあるのです。

できるだけ多くの人と神様の恵みを分かち合いたい、という気持ちから、一昨年、ノートに書き綴ったものを、「心の戦い」として一冊の本にまとめました。

再び平穏な生活にもどった今、私はこれまでよりさらに強く、信仰の大切さを痛感しています。

世の中では安全を脅かすような事件や事故が相次ぎ、海に向こうでは、問題を力で解決しようとする考えが蔓延し、地球環境は悪化の一途をたどっています。われわれはまだ破滅を免れる方法を見出せず、世界は終末を迎えたかのような様相を呈してい

ます。

まるで世の終わりかと思うようなこの頃、何より大切なことは、心に信仰というよりどころをもつて生きることです。信仰することで、日々謙虚に自分を見つめ直すことが肝要だと思っております。

信仰は人によってそれぞれ異なると思いますが、各自自分の信仰にもとづいて、責任ある人生を生きていただきたい。

そんな思いから、先に出版した本に原稿を書き加えて「新・心の戦い」を出版することにしました。すでに「心の戦い」を読んでくださった方々には、前半は重なる内容となりますが、もう一度手にとってご覧いただけたら幸いです。

二〇〇五年十二月十三日

二階堂 正司

## 目次

|                           |    |                       |    |
|---------------------------|----|-----------------------|----|
| はじめのことは                   | 5  | 罪への誘惑                 | 28 |
| 定年退職                      | 11 | 罪の報酬は死である             | 29 |
| 失われたエデンの園を求めて             | 12 | コレステロールと血管            | 29 |
| 神の愛                       | 17 | 二階堂昭治様                | 30 |
| あわれみの心(かわいそうに思う心、ふびんに思う心) | 18 | 神の祝福                  | 32 |
| 敵を愛せよ                     | 20 | 試練                    | 34 |
| 仲間を許さない家来のたとえ             | 20 | 重荷                    | 35 |
| 一万タラントと百デナリオンのたとえ         | 21 | 神様の約束                 | 37 |
| イエス様十字架上の言葉               | 22 | 神の愛を求めて               | 38 |
| 罪の裁き 神の義                  | 24 | 〇様                    | 39 |
| 病                         | 24 | 祈り                    | 41 |
| 神様との交わり                   | 25 | 御言 <small>ことば</small> | 42 |
| 神様の喜び―創世記第11章バベルの塔に学ぶ     | 26 | 墓碑                    | 43 |
| 食事による裁き                   | 27 | 新会堂への祈り               | 43 |
|                           |    | 喜び                    | 44 |
|                           |    | 近放伝「ライフ・ライン」係御中       | 46 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| 新会堂での祈り         | 47 |
| 感謝状             | 50 |
| 「ライフ・ライン」榎原寛先生へ | 53 |
| すべての民族を裁く       | 58 |
| 行いを欠く信仰は死んだもの   | 60 |
| 日本国際飢餓対策機構 T先生へ | 60 |
| 汝の敵を愛しなさい       | 65 |
| 欲               | 68 |
| K宣教師様           | 69 |
| 神との愛の交わり（祈り）    | 69 |
| 命の水             | 71 |
| 天の父なる神様へ        | 72 |
| この上なく尊いもの       | 74 |
| 小林和夫先生          | 74 |
| E様              | 76 |
| T様、E様           | 77 |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 世界平和と飢餓からの救いのための祈り | 78  |
| ハレルヤ！ 神様、キリスト、イエス様 | 81  |
| 霊肉ともに救われる道         | 84  |
| 神の愛の報酬——神様と妻に感謝して  | 85  |
| 水の問題、酸素の問題、食物の問題   | 87  |
| 皆さん、教会にいらつしやい！     | 88  |
| 祈り                 | 91  |
| 神の愛の楽園の詩の一部        | 92  |
| 「心の戦い」発行 寄せられた感想   | 93  |
| 永遠の命に至る道           | 101 |
| 友に                 | 102 |
| 「心の戦い」落選           | 105 |
| ポーマン・ベルアンテ様との書簡    | 112 |
| 徳田美江子様             | 116 |
| どの聖書を学べば……？        | 118 |
| 野田秀先生に教えを乞う        |     |

小林先生、金井先生に学ぶ

「ハーベストタイム」中川健一先生との会話

魂の喜び……………131

グリーンピア三木でのスライターの体験……………135

信仰……………137

初恋の思い出……………138

世界共通の言葉 アーメン……………140

日本の法律の中にある「正当防衛」……………142

聖書のみことばの中にある「正当防衛」……………143

「祈り」―神学者加藤常昭先生に学ぶ……………144

謙遜……………147

アーメン 祈りは世界を包む……………147

U様……………148

救いの言葉……………150

緊急避難……………150

インマニエル……………153

「ハーベストタイム」中川健一先生に学ぶ……………155

妻への感謝の言葉……………158

二階堂正司の信仰の系図……………159

愛のない学問は人類を死の世界に導く……………161

「主イエス・キリスト様と共に生きる永遠の命」

心の祈り……………175

愛「主イエス・キリスト様と共に歩む」

## 定年退職

人間は神様の似姿に創造されました（創世記第1章27節より）。私たちは神様と交わり、神様の愛の内に歩むならば、日々楽しく暮らせるのです。

人間はサタンにだまされ、神さまに逆らい、罪を犯しました。人間は一生苦しんで食物のため額に汗して働き、パンを食べ、ついに土に帰るのです。

人間は裸で生まれ、裸で死んで行くのです。この世の財産は何一つ持って行くことができません。衣食があれば、それで足りるとすべきです。私は幸い定年退職により仕事から解放され、自由な時間が与えられ、年金により衣食に困ることがなく、神様の御言葉を学ぶことができます。

聖書を学びませんか。聖書はすべて神様の靈感を受けて書かれたもので、人を教え、戒め、正しくし、義に導くため人間に与えられた神様の愛の手紙です。

神様の愛を目標に、清い心と良心をもって信仰しましょう。イエス・キリスト様の

愛を信じて生きて行きましょう。

(一九九四年四月十八日)

## 失われたエデンの園を求めて

私が長い間慕い求めていたエデンの園、神様がお造りになった神の国。

アダムとイブが何の心配もなく、神様の愛に育まれて、楽しく生活をしていました。その時、アダムは言った。

「これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉。」

男から取ったものだから、

これを女と名づけよう」

アダムの愛する女性イブが、神様によって、アダムのあばら骨の一つを取って創造されました。(創世記第2章22節～23節より)

エデンの園で、二人は楽しく生活をしていました。

人間に神様から自由意志が与えられ、神様は、人間が、お父さま「アバ父よ」と語りかけることを、楽しみにしていました。

私にも一人の可愛い孫が、神様より与えられました。

今、一歳四ヵ月です。

めぐみちゃんと呼べば「ハイ」と答えます。

私にとつては本当に楽しく、孫が可愛いのです。

今はまだこの言葉だけです。

言葉が話され「オジイサン」といえる日を、心待ちにしています。

もうすぐです。花咲く春になれば、待ち望んでいることが実現されます。

神様も、人間と語り合う日をどれほど楽しみに待っていたかよくわかります。

それをあの悪いサタン（へビ）がイブを誘惑したのです。

人間が神様の戒めを破ったのです。

アダムとイブが欲のため、神様に大きな取り返しをつかない罪を犯したのです。

この罪のために、どれだけ長い間人間が苦しめられたか。

「神様、人間を救って下さい」と、私は心の奥底から叫びます。

私の苦しみも大変でした。

全ての人間が苦しんでいます。

この苦しみからの救いのために、神様はイエス様を私たち人間に賜ったのです。

### ヨハネによる福音書 第3章16節〜17節

神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

イエス様は語られました。

テモテへの第二の手紙 第3章16節〜17節

聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。それによって、神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にとのえられた者になるのである。

マタイによる福音書 第7章7節〜11節

「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があるうか。魚を求めるのに、へびを与える者があるうか。このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈

り物を知っていることを知っているとすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあろうか」

ローマ人への手紙 第11章33節〜36節

ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい。

「だが、主の心を知っていたか。

だが、主の計画にあずかったか。

また、だが、まず主に与えて、

その報いを受けるであらうか」

万物は、神からいで、神によって成り、神に帰するのである。栄光がとこしえに神にあるように、アーメン。

## 神の愛

ローマ人への手紙 第8章 31節～32節

それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵しえようか。ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わないことがあるうか。

同35節

だれが、キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か、苦悩か、迫害か、飢えか、裸か、危難か、剣か。

聖霊に導かれ、人生の勝利を勝ち取りましょう。全能の神が私達の味方です。

マタイによる福音書 第5章7節

あわれみ深い人たちは、さいわいである、

彼らはあわれみを受けるであろう。

あわれみの心（かわいそうに思う心、ふびんに思う心）

マタイによる福音書 第5章43節〜48節

『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるか。そのようなことは取税人でもするではないか。兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもして

いるではないか。それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

ルカによる福音書 第6章36節

「あなたがたの父なる神が慈悲深いように、あなたがたも慈悲深い者となれ」

マタイによる福音書 第9章13節

「わたしが好むのは、あわれみであって、いけにえではない」とはどういう意味か、学んできなさい。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」

マルコによる福音書 第6章34節

イエスは舟から上がって大ぜいの群衆をこらんになり、飼う者のない羊のようなその有様を深くあわれんで、いろいろと教えはじめられた。

## 敵を愛せよ

人の悪い行為は喜ばないが、その魂をあわれみ、愛し、その人のために親切を尽くし、祈る。意地や我慢で悪人に手向かわずに辛抱する。

愛し忍び遣わし、その人のために利益を図る。これは人間の人情では、できることではない。

生まれ変わった人に与えられる神の愛である。聖霊によって神の愛が心に注がれて、初めてできることである。

## 仲間を許さない家来のととえ

マタイによる福音書 第18章 21節〜22節

そのとき、ペテロがイエスのもとにきて言った、「主よ、兄弟がわたしに対して罪を

犯した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか」イエスは彼に言われた、「わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するまでにしなさい」

### 一万タラントと百デナリオンのたとえ

マタイによる福音書 18章33節

『わたしがあわれんでやったように、あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか』

マタイによる福音書 第18章35節

「あなたがためいめいも、もし心から兄弟をゆるさないならば、わたしの天の父もまたあなたがたに対して、そのようになさるであろう」

ヤコブの手紙 第2章13節

あわれみを行わなかった者に対しては、仮借のないさばきが下される。あわれみは、

さばきにうち勝つ。

ローマ人への手紙 第12章19節〜21節

愛する者たちよ。自分で復讐をしないで、むしろ神の怒りに任せなさい。なぜなら、「主が言われる。『復讐はわたしのすることである。わたし自身が報復する』」と書いてあるからである。むしろ、「もしあなたの敵が飢えるなら、彼に食わせ、かわくなら、彼に飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃えさかる炭火を積むことになるのである」。悪に負けてはいけない。かえって、善をもって悪に勝ちなさい。

イエス様十字架上の言葉

ルカによる福音書 第23章33節〜34節

されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人

たちも、ひとりには右に、ひとりには左に、十字架につけた。そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしくください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」

とりなしの心、あわれむ心、敵をも愛するイエス様  
深いあわれみ、許しの心、愛の心、

私たちの罪の許しを父なる神様にとりなしてください。

エペソ人への手紙 第4章32節 新しい生き方

互いに情深く、あわれみ深い者となり、神がキリストにあってあなたがたをゆるして下さったように、あなたがたも互いにゆるし合いなさい。

ローマ人への手紙 第8章32節

ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかた

が、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあるうか。

## 罪の裁き 神の義

神の愛の交わる十字架のイエス様の、死の苦しみを通しての私たちの救い、神の愛の深さ、あわれみ、許し。

## 病

コリント人への第一の手紙 第11章27節〜32節

だから、ふさわしくないままにパンを食し主の杯を飲む者は、主のからだに血を犯すのである。だれでもまず自分を吟味し、それからパンを食べ杯を飲むべきである。主のからだをわきまえないで飲み食いする者は、その飲み食いによって自分にさばきを招くからである。あなたがたの中に、弱い者や病人が大ぜいおり、また眠った者も少

なくないのは、そのためである。しかし、自分をよくわきまえておくならば、わたしたちはさばかれることはないであろう。しかし、さばかれるとすれば、それは、この世と共に罪に定められないために、主の懲らしめを受けることなのである。

### 神様との交わり

神の言葉と、神の子人間の言葉

(祈り) 神の言葉をもって語る

神の言葉、聖書

語り合うこと、交わること

神の喜び、人間の喜び

## 神様の喜び — 創世記第11章バベルの塔に学ぶ

神様の言葉で人類が一つの言葉（聖書）に統一されることが肝要です。

人間の言葉は心から出る言葉、すなわち聖書の御言葉で語り合うことによつて、神様と心をつにすることが出来ます。

心の言葉の乱れが、争いのもとになるのです。

人間が神様の言葉で統一されれば、愛のあわれみの言葉で心が統一され、許す心をもてるようになり、

また愛の結びにより、争いがなくなります。

全ての宗教上の争いもなくなり、

世界は一つの神様の心の言葉で統一され、永遠の平和が築かれます。

人類全てがキリストの福音にあずかり、

神の支配、イエス・キリストの世界が生まれます。

マルコによる福音書 第8章36節〜37節

人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になるうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。

食事による裁き

主の晩餐にあずかるには

コリント人への手紙 第11章27節〜32節

だから、ふさわしくないままパンを食し主の杯を飲む者は、主のからだを犯すのである。だれでもまず自分を吟味し、それからパンを食べ杯を飲むべきである。主のからだをわきまえないで飲み食いする者は、その飲み食いによって自分にさばきを招くからである。あなたがたの中に、弱い者や病人が大ぜいおり、また眠った者も少なくないのは、そのためである。しかし、自分をよくわきまえておくならば、わたし

たちはさばかれることはないであろう。しかし、さばかれるとすれば、それは、この世と共に罪に定められないために、主の懲らしめを受けることなのである。

## 罪への誘惑

マタイによる福音書 第18章 8節

「もしあなたの片手または片足が、罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。両手、両足がそろったままで、永遠の火に投げ込まれるよりは、片手、片足になって命に入る方がよい。もしあなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。両眼がそろったままで地獄の火に投げ入れられるよりは、片目になって命に入る方がよい」

## 罪の報酬は死である

ローマ人への手紙 第6章23節

罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト、イエスに  
よる永遠のいのちなのである。

## コレステロールと血管

罪の許し イエス様の血潮で洗い流す

動脈の大そうじ、血液の流れ

医者薬、食事の大切さ

祈り、いやし、病気のいやし

# 途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。  
途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

## 著者プロフィール

二階堂 正司 (にかいどう ただし)

1933年 神戸に生まれる

1952年 県立兵庫高等学校卒業

1956年 関西大学法学部卒業

編集協力・古賀章子

## 新・心の戦い

---

2006年 9月15日 電子出版発行

著 者 二階堂 正司

発 行 者 瓜谷 綱延

発 行 所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (販売)

<http://www.boon-gate.com>

© Tadashi Nikaido 2006 Corded in Japan

ISBN4-286-01403-7

(文芸社発行の通常書籍(紙の本)については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」  
サイト、<http://www.bungeisha.co.jp>を御参照ください。)

新 06.08.31 Hicom